

JAJFTMA

JAPAN FISHING TACKLE MANUFACTURERS ASSOCIATION

平成28年1月31日 発行 第61号

2016年 年頭所感

釣りと自然の環境を 未来へつないでいく活動が より地域に根ざすことを願って

一般社団法人 日本釣用品工業会
会長 島野 容三



謹んで新年のお祝いを申し上げます。

旧年中は（一社）日本釣用品工業会（日釣工）の活動に、多大なるご支援・ご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。本年も変わらぬご支援・ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

さて、景気回復の切り札と目されたアベノミクスも、今年で4年目を迎えます。株高や円安、賃上げ等で日本経済に明るさが戻ってきたと感じられた時期もありましたが、やはり生活者の実感レベルとしては、決してその恩恵を享受できていたとはいえません。ただ、米国をはじめとする海外景気の持ち直しを背景に、日本経済も前向きに転換するという見通しが立てられていることも、また事実です。今年はリオデジャネイロでオリンピックが開催されますが、いまだ記憶に新しいラグビー日本代表をはじめとする各種スポーツ選手の活躍、また日本人の相次ぐノーベル賞受賞など、世界を舞台にした明るい話題も少なくありません。毎年増え続けるインバウンド（訪日外国人）からも見て取れるように、日本はやはり魅力あふれる国。経済、文化、芸術、スポーツなど、あらゆる分野で世界を牽引していく気概と自信をもち、前向きに取り組んでいきたいものです。

一方私ども釣り業界に関しましては、ここ数年、台風や豪雨、夏の猛暑などの天候不順に悩まされることが続いておりますが、いつまでも予想外と嘆いているわけではありません。もはやそれらを“平常並み”と認識し、地に足の着いた施策で釣りそのものの魅力を発信し、業界を盛り上げていくことが大切なのではないでしょうか。本年も1月29日（金）～31日（日）の3日間、パシフィコ横浜にて『ジャパンフィッシングショー2016』を開催いたします。「釣具全開」のキャッチフレーズが示すとおり、各社が自信をもってお届けする新製品の数々を揃え、華やかに新しい釣りシーズンの開幕を告げます。今回は、従来のチケット販売に加え、新たにスマートフォンを活用した電子チケット販売を導入。また会場内では、来場者の満足向上を図るべく、体験型イベントやトークショーなどのステージプログラムも充実させるなど、より時代を見据えた展開を企画しております。コアな釣りファンにも、ビギナーの方にも幅広く魅力をお伝えできるショーとするべく、関係者一同全力で準備中です。釣具店さまにおかれましても、こうした趣旨をご理解のうえ広くお知らせいただき、多数の来場につなげることでお店の活性化にお役立ていただければと存じます。

私ども日釣工は、市場の活性化とともに釣り環境の整備及び社会的貢献についても重要な責務とし、“持続可能な自然環境の構築”実現をめざした「つり環境ビジョン」を提言。「清掃事業」「放流事業」「釣り場拡大事業」を3つの優先事業として活動しておりますが、昨年新たに「LOVE BLUE 地球の未来を」というスローガンを掲げました。これは、釣業界内に軸足を置きながら、より広い視野をもって自然に関するあらゆる事象に目を向け、人々の営みが発展し続ける社会を拓きたいという大志をもって活動していくという決意の表明であり、今後の日釣工内のつり環境ビジョン関連の活動については「LOVE BLUE」の名称に統一してまいります。

一昨年より日釣工のプロダイバーを中心に水中清掃を実施してきた茨城県の汽水湖・涸沼（ひぬま）が、2015年5月28日に「ラムサール条約湿地」として登録されました。登録後に実施した清掃活動では、地元中高生をはじめ前年を大きく上回る方々にも参加いただき、私どもの活動が着実に地域に根付いてきたことを実感しております。また、昨年で3年目となる専門機関との連携による放流事業は、東京湾口3カ所にてマダイ種苗20万尾の放流を実施。調査地域で水揚げされたマダイの中には、2～3年前に放流したものであると推定される成魚が約30%含まれており、こうした科学的データも蓄積されてきています。さらには、昨年より新たな取り組みとして、地球環境基金との協働により、水辺の環境保全活動を行うNPOなどの諸団体を支援する「つり環境ビジョン助成」も開始。地球の未来へ自然環境を維持していく活動は、ますます広がっています。全商品に添付をお願いしております「環境・美化マーク」につきましても、引き続き釣具店様にはご協力を賜りお力添えいただけますよう、重ねてお願い申し上げます。

日釣工は2016年も、釣りレジャーの地位向上のため、社会と共生できる釣りを目指し、環境に配慮した道具づくりをはじめとして、国民生活を豊かにする釣りの創造に積極的に取り組んでまいります。本年も変わらぬご厚誼を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

理事会開催報告

去る、平成27年12月17日（木）に、日本フィッシング会館8階会議室において第13回理事会が開催されましたのでご報告いたします。

第1号議案 委員会活動に関する報告があり承認されました。

(1) LOVE BLUE委員会

LOVE BLUEご参加総数184社、収入状況（シール販売・商標使用料）、海外商標出願状況、平成27年度LOVE BLUE活動実績、平成28年度LOVE BLUE事業予算（骨子案）、平成27年度LOVE BLUE事業 収支計算書、等

(2) JAF実行委員会

JAF2016出展申込状況、広報関連、動員関連、会場内イベント、メインステージプログラム、会場図面、等

(3) 規格・安全委員会

ライフジャケット安全・啓発WG、釣糸WG、JAF2016ブース・メインステージ等の周知広報、電池寿命等に関する情報提供、ワーム環境対策検討会議、等

(4) 市場調査委員会

第19回釣用品の国内需要動向調査実施に関して、回答状況の報告、基礎調査市場動向算出、疑似餌の品目別市場規模の検証、中古市場の規模推計算出、インターネット市場の規模推計算出、小売市場規模算出基準の見直し、等

第2号議案 釣り人口拡大のための施策に関する報告があり承認されました。

第3号議案 平成27年度中間決算監査に関する報告があり承認されました。

第4号議案 平成27年度収支計算書（4月～11月実績）に関する報告があり承認されました。

第5号議案 入・退会会員について該当する案件が無い報告があり承認されました。

第6号議案 （一社）日本釣用品工業会名義使用許諾に関する報告があり承認されました。

第7号議案 その他報告承認事項について以下の報告があり承認されました。

(1) 日本フィッシング会館長期修繕計画に関する件

(2) ロイヤルアングラ賞候補者に関する件

(3) 広報に関する件

(4) 職員採用に関する件

(5) 遊漁船業法研究会解散に関する件

(6) 平成28年度会議開催日程（案）に関する件

(7) JAF2016開催に当たってのお願い

(8) その他

以上。

第19回「釣用品の国内需要動向調査報告書」発刊のご案内

当工業会は、2016年2月に第19回目となる「釣用品国内需要動向調査」報告書を発刊します。「釣用品国内需要動向調査」は、釣用品メーカーを対象に国内釣用品の出荷量を調査、その回答結果を元にメーカー出荷ベースの釣用品市場規模を算出、更に商品分野別の動向や輸出入統計データ等を、市場調査委員会（岸委員長）で検討し掲載した資料です。今回は前回（第18回）に引き続き「ソルトウォータールアー市場の詳細分析」を行うなど内容の充実を図っています。

【調査結果の要約】

2014年の釣用品国内出荷規模は対前年比102.3%の1,247億4,000万円の成長となった。また、2015年の釣用品国内出荷規模（見込）は対前年比102.8%と引き続きプラス成長の見込となりました。

ご購入のお申込みは公式ホームページよりお願いいたします。 <http://www.jaftma.or.jp/>

LOVE BLUE 事業報告

LOVE BLUEの最新の活動は、こちらでご確認ください！

Facebookページにて最新情報配信中！



LOVE BLUE 公式Facebookページ



LOVE BLUE

検索



5月

水中清掃実施地が、
ラムサール条約登録湿地に！

昨年度より水中清掃を行っている茨城県茨城町の
酒沼（ひぬま）が、平成27年5月28日に「ラムサール条約登録湿地」へ登録されました！



6月

環境大臣より
感謝状をいただきました！

これまでの環境保全活動の貢献に対し、平成27年
6月5日付で環境大臣より感謝状をいただきました。



6月

環境省主催
「エコライフ・フェア2015」に出展しました！

6月6日（土）～6月7日（日）に開催され、望月
義夫環境大臣も当会ブースへご来訪され、大村一仁副
会長、小島忠雄顧問から事業の説明を致しました。



8月

東京湾口にマダイ
約20万尾を放流しました！

平成27年度の放流事
業は、平成27年8月8
日（土）に東京湾口3箇
所（金沢沖5万尾、久里
浜沖10万尾、松輪沖5万
尾）に放流しました。



9月

「つり環境ビジョン」事業は、
事業名称等を「LOVE BLUE」へ変更しました。

平成27年9月25日（金）に
開催された第12回理事会において、「つり環境ビジョン」から
「LOVE BLUE」へ、事業名称や
委員会名等の変更が承認されま
した。



10月

水中清掃の現場を
児童が見学に来訪しました。

水中清掃を実施する地域からのご要望により水中
清掃作業現場の見学が行なわれました。



12月

2015年度の参加企業等
（12月15日現在）

LOVE BLUEへの参加企業は、184社となり、水
中清掃事業は、19道県37箇所が実施済、年度内に
2箇所・5日程度、予定しております。



JAPAN FISHING SHOW

ジャパンフィッシングショー 2016 みなとみらい・パシフィコ横浜

ジャパンフィッシングショー2016開催せまる。

開催日時：2016年1月29日（金）・30日（土）・31日（日）パシフィコ横浜
 【29日】ビジネスタイム 10:00～14:00 一般 14:00～18:00
 【30日】9:00～17:00 【31日】9:00～17:00

- 「釣具全開」。日本を代表する釣具メーカーが勢揃いして、新製品をはじめ、おすすめの釣具を一斉に公開いたします。
- 海上保安庁と水産庁が「釣りの安心・安全」をテーマに、ライフジャケットの安全な使用方法や釣りのルール・マナーなどの啓発活動をおこないます。
- 横浜での開催となって10回目の節目にあたり、多くの横浜市民の皆さまに「釣り」の楽しさを体験いただくため、横浜市連携施策として市民を会期初日にご招待いたします。

■会場内イベント

- ：キャストイング体験コーナー
- ：バーチャルフィッシングコーナー
- ：おサカナ体験コーナー
- ：オリジナルグッズ販売コーナー
- ：釣種エリア：バス、船、ソルトルアー、フライ
- ：キャンピングカーフェスティバルコーナー
- ：グルメコーナー

■メインステージプログラム

- ：The Meijin釣種別トークショー
- ：第7代アングラーズ・アイドル審査会
- ：AEDの使い方講習
- ：ライフジャケット講習
- ：釣れるアイドル「つりビット」オンステージ
- ：第10回クールアングラーズ・アワード

詳しくは公式ホームページをご覧ください。
<http://www.fishingshow.jp/>



事務局だより

■新年明けましておめでとうございます。旧年中はお世話になりました。本年も事務局職員一同各事業の推進と当工業会の活性化を図ってまいりますので、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。



■当工業会に昨年2名の職員が入りましたのでご紹介いたします。LOVE BLUE事業をはじめとした業務を担当しますので、今後ともよろしくお願いいたします。



まぐち ひろゆき
菊地 洋行 (37歳)
 平成27年9月28日入職



たけの ひろあき
館野 広明 (28歳)
 平成27年11月2日入職



JAFTMA

JAPAN FISHING TACKLE MANUFACTURERS ASSOCIATION

一般社団法人 **日本釣用品工業会**

〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-22-8 日本フィッシング会館5F
 TEL 03 (3555) 0101 (代表) FAX 03 (5542) 2929